

六葉会 会報

2016 年
4 月号



関東学院六浦中学校・高等学校同窓会

<http://www.rokuyoukai.com>



Akiko Oba

表紙を飾る 版画家 大庭 明子さん (23 回生)

カラフルでパワフルな作品で
幅広く活躍する大庭さん！
みなさんの応援、
よろしくお願い致します。

略 歴

- 1956 神奈川県逗子市に生まれる
- 1978 ~ '97 神奈川県版画アンデパンダン展
- 1979 東京造形大学絵画科版画研究室卒業（教授：馬場栲男）
- 1980 ~ '89 神奈川県美術展（受賞 '80, '82, '83, '84, '86）
- 1981 ~ '88 日本版画協会展（受賞 '87）
- 1981 ~ 個展（各地）
- 1982 版画〈期待の新人〉展（りゅう画廊）
- 1984 イベザグラフィック展（スペイン）
- 1985 文化庁芸術家国内研修員（指導：磯見輝夫）
平和への青年芸術家展（ポーランド）
- 1987・'91 Small Graphic Forms, Lodz Poland（ポーランド）
- 1987 第21回現代美術選抜展（文化庁）
- 1989 Petit Format de Papier = Japon 1989（ベルギー、フランス）
- 1991・2002 C.W.A.J. 現代版画展（アメリカン・クラブ）
- 1992 横浜の作家たち（横浜、ルーマニア：コンスタンツァ、ブカレスト）
- 1994 ビトラ国際版画トリエンナーレ（マケドニア：ビトラ）
- 2008 絵本「ことばのくにのマジックショー」
（アリス館 手品：大友剛 ことば：中川ひろたか）
- 2009 絵本「にくまん どっち？」（アリス館 文：荻田澄子）
- 収 蔵 神奈川県民ホール、神奈川県立かながわ女性センター、
厚木市民文化会館、横浜市民ギャラリー、大学版画協会、
逗子文化プラザホール

●大庭さんのホームページはこちら。

<http://www.obaakiko.com>

「大庭明子の電子空間」

表紙の作品紹介

「OBOE Z」 14 × 18 (cm) 木版画

C O N T E N T S

大庭明子さんプロフィール ……………	表 2	真夏のバーベキュー ……………	10
副会長挨拶 ……………	1	第1回 六葉会ボウリング大会 ……………	11
校長挨拶 ……………	2	六葉会活動報告 ……………	12
岩楯募金 ……………	4	同期会レポート ……………	14
クラブ活動訪問 女子ラグビー部 ……………	6	親睦ゴルフ大会報告・お知らせ ……………	16
プレハブ学食の思い出 ……………	9	第 64 回生学年幹事氏名・六浦祭・HDCお知らせ ……	17

「私の原大本徹」

六葉会副会長 高橋 浩司 (30 回生)



「^{げんだいほんてつ}原大本徹」とは聞き慣れない言葉ですが、「原点」「大局」「本氣」「徹底」の頭文字を取った造語です。「原点」とは植物で言えば種で、自分が生きて行く上の志の大元です。「大局」とは種から出た根で、何処まで自分の事として考えられるかであります。家族の幸せ、町内会の安全、市や県や国の将来、地球環境問題等々、何処まで「我が事」として考えられるかが「大局」です。「本氣」とは種から芽が出て太く大きく伸びる幹であり、本氣の志であります。「徹底」は幹から出ている枝葉であり、回りから見える姿形であって、本氣の志を回りの人に理解して頂く為に行う日々の研鑽の事であります。

さて、私は母校に入学して校訓「人になれ奉仕せよ」と出逢いました。この校訓は、一九一八年私立中学関東学院の初代院長に就任された坂田祐先生が第一回の入学式の際述べられた言葉です。また坂田先生はその意味を次のように説明されました。

人になれ・諸子は将来学者になり、教育家となり、実業家となり、政治家になるであろうが、何者かになる前に先ず人にならなければならない。

奉仕せよ・これは人のために、社会のために、国のために、人類のために奉仕することである。キリスト教の教訓をもつて人たるの人格をみがき、キリストの愛の精神をもつて奉仕する事である。

イエス・キリストは、自らの命を投げ出し全ての人の罪を背負い十字架につかれました。その最高の愛(無償の愛)を土台として掲げられた校訓は、私の深層の原点に人様や社会に奉仕する人間になる天命を強烈に植え付けてくれたのです。そして**本氣の志**として、アジア諸国が共に手を携え世界の平和安定に向け一致して行動できる事を目指し、その礎になれるよう活動して参りたいと思っております。まだまだ周りの方々が理解して頂けるような**徹底**した行動にはなっておりませんが今後共精進して参る覚悟であります。

多くの同窓生が、夫々**我が事**と考えられるコミュニケーションの中で「人になれ奉仕せよ」の校訓の灯火を今尚、色鮮やかに心に灯し活動していることと存じます。実はその活動こそが母校の評価向上に最も繋がる行動なのであります。そうした日頃のご活躍に敬意と感謝を申し上げると共に皆様のご多幸を祈念し挨拶に代えさせて頂きます。

「新しいフェーズ、3年目」

校長 黒畑 勝男

関東学院へ入職、関東学院六浦中学校・高等学校の校長に着任して2年が過ぎました。少子化進行の深刻さと日毎に厳しさの増す学校間競争を知らされる日々。伝統校としての自信と歴史の長さにも頼る、安定の上に眠る六浦に危機感を覚えての700日。新しいことを打ち出す際の多くの困難に二日生の気持ちを感じてきています。北海道育ちの私には、全てを閉じ込め、覆い、終焉と始まりを感じさせる雪がない分、季節の変わり目を強く意識できず、2年の時の実感がありません。途切れずに続く仕事に明け暮れるという感じでした。

しかし、毎月開催される六葉会常任幹事会の時節にそった堅固な活動の様を見ることが、また、同窓の方々から時につけ母校を愛する気持ちをお聴きするたびに、その都度励まされ二つの節目を感じつつ奮起してきています。

六葉会からは二年間にわたって多大なご寄付をいただき、学校の広報や新しいプ

ログラム開発とPRを兼ねた取り組みに充てさせていただいてきております。紙面をお借りし、あらためて感謝を申し上げます次第です。

また昨年は、本校の第二代校長の故岩楯幸雄先生のご夫人、岩楯幸子様より高額のご寄付を賜りました。学校の成長は教職員の成長によるので教員の研修に用いて頂きたい」という岩楯先生のご遺志としてのご寄付です。学院法人は早速、「岩楯幸雄記念教育振興研修資金」として規定を作り、学校管理の資金ですが準ファンドのような運用で早速適用させていただいています。「準ファンド」とは、資金としてのご寄付でしたが、第二回卒業生である松島美一様、第三回の吉沢寿朗様、第七回の田野井雄様、第九回卒業生の足立成之様他、多くの皆様による協賛募金の呼びかけがあり、これによって先行的に、厚志が同資金に寄せられて運用されていることによります。発起人の皆様にあらためて感謝を

申し上げます。

いずれも同窓の皆様の実績な母校愛であるところであらためて感じ入っております。六浦は外因としての少子化だけで申し上げても大きな苦境にあります。しかし同時に、内因としての教育内容の魅力不足は否めません。遠くても入学したい学校にならなければなりません。明日を担う世代を育てる学校として、社会に必要とされる学校とならなければなりません。

同窓会に関連する会で何度か申し上げてきたことがあります。伝統のある学校だからこそ「温故知新」ではなく、もっと積極的に「温故創新」でなければならない。伝統のゆえに停滞させてはならない。あるいは「温故邁進」であるべき、と言わせていただいています。

世界の動きを見る時、多くのことが地



球規模で起こり、即座に日本にも関連が及ぶことを感じます。学校は集積してきた知の基礎をしつかりと教えるだけでなく、新しい時代の中に生きて行く子どもたちに、社会の変化への対応に役立つ力や生きる力、……手取り早くは第二には言語ですが……生きるための力を育てる場であればなりません。これまでの社会観や経験則では全く予測できない時代が子供たちの近未来にあることを真摯に考え、学校はまさに「温故創新」であるべきなのです。

「10年後、20年後の社会を見据えた教育の展開」が今の六浦のテーマです。勿論、日々の学習で基礎基本を大切にします。そして卒業後の結果を確かなものにしていきます。大きな変化は、英語教育の見直しです。近未来は、あと5年もすると世界は、世界の18〜22歳の人口の50%が英語と中国語を母国語とする人々になります。本校は、2015年度の入学生から、中は英語の全ての授業をネイティブと二人で行うTTTとしました。目新しい着眼ではありませんが、聞くこと話すことを従来以上に重点化しています。英語を教科として筆記だけの学力観で捉えるのではなく、言葉の

習得として捉え直し、作り直しをします。数学や理科、社会科などの知識を学ぶ力とは違い、学力に関係なく、誰にでも話せる言葉として学ぶことが大事です。評価は他の教科と同様にテストによる評価ですが、基本的には英語の学習目的はコミュニケーション手段の習得です。受験のため(だけ)ではありません。情報を聞き取ること、読み取ること、自分の意思を伝えることのツールとしての習得です。

英語教育のみならず、新しい教育観をすべての授業や活動、取り組みの隅々まで浸透させていきます。学んだことを活用して問題を解決するため、発信する方法とその力を習得すること。実社会と自分が繋がっているという実感とその経験から、明日の生きる道を積極的に探ること。これらを学校全体のプログラムのうちに実学的教育として組み込むことを明確に打ち出しています。また、海外体験をより身近で誰にも可能なものにするため、エージランドの学校との特別提携を2016年度から開始します。全ての生徒が本物で学ぶ。現実で体験する。こうした実践はホームページのブログでも日々発信しています。教員も研修を重ねてきています。新し

い授業づくりのための研修出張を増やしてきています。良い研修であれば関東圏外も含め、多くの研修会へ参加させていきます。取り組みはまだ二年目ですので参加教員の片寄りがありますが、今後も広げてゆきます。

2015年度は、全教室に電子黒板形の最新プロジェクターを設置してスタートしました。教員全員がタブレット端末(iPad)を持ち授業等で活用しています。学院法人の六浦の改革推進に対する特別措置の整備事業で、本校のICT環境は大学以外の各校で先端となりました。いまや横浜屈指の環境とも言えます。しかし、現在は教員だけのタブレット端末の利用です。授業内での時間の効率化、生徒の集中力の向上、分かりやすさの増進を目的としています。数年内に生徒全員がタブレットを使用する授業を目指し、教員の研修を深めています。生徒にとっては、授業や自学の他に有効に活用できる利用方法を検討中です。

10年後、20年後を想像し、変化に対応できる確かで柔軟な力を6年間で育みたい。60周年を経た六浦の、新しいフェーズ3年目です。ご支援をよろしくお願いします。

「岩楯幸雄記念 教育振興研修資金」への 協賛のお願い

発起人会代表 松島 美一（第一回生）



I 経緯

昨年、故岩楯幸雄先生のご夫人から母校の発展のためにと多額のご寄附を頂きました。

岩楯先生は、栗沢竹雄校長が病のために校長を辞された1962年に第二代校長として就任され、1980年まで務められました。

岩楯先生は生前、学校発展のためには教職員の研鑽、研修が必須とおっしゃっておられたので、この寄付金を基に、法人理事会の承認を受けて「岩楯幸雄記念教育振興研修資金」が創設されました。

この資金は、母校が有為な勇気ある人材を輩出するために、必要な教育活動の創出に用いられることと定められております。具体的には、①教育の充実を図る教職員の派遣等を含む研修への財政的支援 ②社会貢献活動等、実践的研修への財政的支援 ③海外との教育交流増進に伴う諸事業への財政的支援等の事業が規定されております。

II 卒業生有志による協賛募金活動を行うにあたって

近年の横浜市における市立学校の教育内容の充実は、目覚ましいものがあります。そのため、横

浜市内の各私立学校は生き残りを賭けて懸命の努力をしており、母校も特色ある教育の実践を掲げ、躍進を目指しております。

この特色ある教育の創出には、現場教職員の意識・職務能力の高度化が求められます。この研修システムの充実を図る為に必要な研修費用を今回の募金で賄いたくお願いする次第です。

募金方法として、卒業生全員による学校支援として卒業クラス単位、また個人単位などでお願ひします。各期の学年幹事の皆様には大変お手数をお掛け致しますが、趣旨をご理解の上ご協力をよろしくお願い致します。

そして、皆様と共に坂田祐先生による建学の理念『人になれ 奉仕せよ』に基づいた「特色ある中学校・高等学校教育の充実・向上」の実現を目指して支援して参りたいと思います。

■募金概要

◎募金名称……「岩楯幸雄記念関東学院六浦中学校・高等学校教育振興研修基金」

◎募金目的……岩楯幸雄先生のご遺志が示されたこの機会に、母校発展の為のご寄附をお願いするものです。

◎募金期間……2015年3月1日～

◎募金対象……卒業生クラス単位、個人、法人・団体(有志団体等)

■お申込みについて

◎卒業生クラス単位…一クラス20,000円以上

◎個人単位…二口2,000円(できましたら複数口)以上 法人・団体…20,000円以上

◎払込方法

振込方法:同封の専用「振込通知票」による ※税法上の減免(所得控除)が受けられます。

三井住友銀行 横浜中央支店 普7376354 みずほ銀行 上大岡支店 普4068896

三菱東京UFJ銀行 横浜支店 普3122841 横浜銀行 追浜支店 普6019236

◎ご連絡・お問い合わせ先

関東学院六浦中学校・高等学校 電話 045-781-2525 安藤事務長

只今、絶好調！ 女子ラグビー部

2015年4月にわが母校に女子ラグビー部が創部されました。高校のラグビー部として全国で三校目になり、神奈川県内に唯一の女子ラグビー部として発足したばかりでなく、東日本でも最初の女子ラグビー部となりました。国内には大阪の追手門学院高校と島根の石見智翠館高等学校(旧江の川高等学校)にしか女子ラグビー部はありません。

2016年のリオデジャネイロオリンピックから男女ともに7人制ラグビーが正式種目になった今、我が校から将来の日本代表選手となる可能性を秘めた後輩たちを取材して来ました。



ラグビーが大好きな少女たちです！

2015年の六浦祭が終わった直後に母校を訪ねし練習前に女子部員4人に集まっていたきました。4人ともニコニコしながら部屋に入ってくると元気な声で「こんにちは！」とご挨拶してくれました。その後も、私たちの投げかける沢山の質問に、正確にはっきりと大きな声で答えてくれました。決して下を向かず、いつでもこやかに話して下さる姿勢にはとても爽やかな雰囲気を感じました。4人とも健やかに育ってきたのだなあと、思いながら、ラグビーとの出会いや生い立ちをお聞きしてみると、全員がこ

家族の影響でラグビーに興味を持ち、小学校時代にタグラグビーに出会っていました。タグラグビーは選手同士の体の接触がありませんので小さな子どもや女子には非常に向いているスポーツで、どちらかというと体格よりもスピードを必要とするようです。

ご家庭での教育ももちろんですが、スポーツを通して育ってきたまさに健康優良な少女たちという印象です。

4人の部員の皆さんを順にご紹介いたしますね。



小畑結依(おばた ゆい)さん 高校1年

小学校4年からラグビーを始め、中学1年からクラブチームでラグビーをやってきました。早く部員が増えて学校の女子だけでチームを作って試合をしたいそうです。夢は日本代表入りです！



河部春香(かわべ はるか)さん 高校1年生

父親の影響で小学校3年からラグビーを始め、ラグビーでは物足りなくなって中学3年からラグビーを始めました。自宅から通える学校のクラブ活動でラグビーが出来るのが嬉しいと、高校1年から転入して母校に入学しました。



野本 葵(のもと あおい)さん 中学1年生

幼稚園からラグビーをはじめ、小学校3年から横浜ラグビースクールでプレーしてきました。父親が関東学院大学ラグビー部のOBで母親もラグビーの選手というラグビー一家で育ちました。



岡田一那(おかだ かずな)さん 中学1年

小学校1年からラグビーを6年間やりました。中1から同級生の野本さんに誘われてラグビー部に入りました。



ラグビー部監督

林 広大 (はやし こうだい) 先生

1982年2月生まれ 34歳

国学院久我山高校から関東学院大学経済学部に進み2004年3月に卒業するまでラグビー部に在籍し、関東学院大学在学中は4年間で3度日本一に輝いた黄金時代を過ごした。

三人兄弟の末っ子。

「とにかく女子部員を増やして、関東六浦として7人制のチームを作ることが喫緊の目標です。」

現在関東学院大学ラグビー部の板井良太監督の後を引き継ぎ7年で、中学を強豪がひしめく神奈川県秋季大会で優勝するチームに育て上げた。ラグビーに対する情熱は誰にも負けない。

今回の取材を通して一番強く感じたことは、これまで母校の生徒たちをたくさん見てきましたが、この女子ラグビー部の4人の後輩たちは今まで見たことが無いくらい目が輝いている少女たちということでした。

この後輩たちの中から、将来必ず日本代表選手が出て、日本の女子ラグビーをけん引していく選手が育っていくことを願っています。

この会報が六葉会の皆さんのお手元に届くころには部員が4倍くらいになっているかも知れませんね。

(甲斐深雪 31回)



ラグビーの練習はつらくない?と尋ねると、全員で大きな声で「楽しい!!!」

プレハブ学食の 想い出

栗原 宏之(25回生)

1971年4月中学校に入学した当時の学食は、現在の礼拝堂の場所がありました。簡素なプレハブでできておりテーブルとイスが雑然と置かれお世辞にもおしゃれな食堂というイメージではありませんでした。

中学2年生になると土曜日だけ学食を利用できるようになりました。学食で食事するのはひとつの憧れで、初めて食事をした時は嬉しかったし誇らしくさえ感じたことを思い出します。

食券売り場では、三角巾のおばちゃんが不愛想に食券の札を渡してくれました。それもそのはずで腹を空かしただけ食児童が昼休みになると一斉に押しかけ、さながら戦場のような状況です。注文するメニューの定番は日替わり定食です。おかずはコロッケが多かったように記憶しています。チキンカツは紙のうでに薄かったけれど美味しかった。中でも好きだったのはメインのおかずではなく、マヨネーズであえた付け合せのスパゲッティでじゃぶじゃぶといっぱいソースをかけて食べるのがなよりの楽しみ



1975年頃のキャンパス 中央手前のプレハブが学食です



1975年頃の学食のスタッフ

でした。そんな学食も高校2年生の時に現在の礼拝堂を新築するため、それまで図書館として利用していた建物に移設されました。中学1年生に入學した時にこの建物の前でクラス写真を撮影しました。あれから45年の月日が経っています。亡くなつてしまった友人もいますがそこに写っている同級生達とは今でも酒を酌み交わしています。

カツ井には並みと上があつて、上の器には模様が入つており上カツ井を注文するとちよつと優越感に浸れ、何よりカツ井が好きで学食のおじさんに頼んで持参した弁当箱に詰めてもらつて家のお土産に持ち帰つたことがあるという同級生。まだ昼休みにならないう、3時間目と4時間目の間のわずかな休み時間、短い時間では手間のかかる上カツ井では間に合わず諦めて並みカツ井にして、授業に間に合うように大急ぎでかき込み、猛ダッシュで教室に戻つたという同級生。カレーにはほとんど肉が入つていなかったとしみじみ語る同級生。食券を買つたため順番に並んでいて先輩や年々な同級生が来て、気が付けば最後尾へ回される。この時代に社会の弱肉強食を身をもつて学んだと語る同級生。何故か学食の

オツチャンがカウンセラーに变身？
ごはんを食べながらいろいろな悩み事や相談事を聞いてもらつて、心のケアをしてもらったというカウンセリング女子もいました。

何といつても忘れられないのは天ぶらそば。学食の一番の思い出は男女を問わず竹輪の天ぶらそばだったようです。ネギを山盛りで注文、青のりの付いた竹輪の天ぶらをのせて、七味をひとつり。冷えた竹輪の天ぶらが熱々のつゆを吸い込み、十分に柔らかくなつたところを食べる。もちろんそばつゆは、全て飲み干す。これぞ天ぶらそばの食べ方の王道だと語つてくれた同級生。

学業には、あまり縁がないのかもしれないませんが、いつとお腹を空かせていた自分達にとって学園生活の中で大切な役割をはたしてくれたのが学食だったのかもしれない。勉強も部活もあり身が入らなかつたけれど、学食で食べることが楽しみで、登校拒否にならずに卒業できました笑 と語る同級生もいました。

ロケット、ポテチ、シベリア、魚肉ハンバーガー、スパゲッティ、コロッケ、焼きそば、餃子、焼売、あの時のパン屋さんも懐かしい。食べ物の想い出は、書ききれないうちにお腹が空いてきました。もちろん今日の晩ごはんは、竹輪の天ぶらそばで決定了。(トキ)

真夏のバーベキュー

六葉会 初の企画「バーベキュー親睦会」を猛暑真つ只中の7月に行ないました。ご参加いただいた方からの感想をご紹介します。



黒畑校長先生にも参加していただき楽しいひと時を過ごしました



黒畑校長も大活躍!!

楽しかったら♪

2015年7月26日(日)、前日より厳しい暑さが予想され、熱中

な、沢山のお肉・飲み物そしてデザートのスィカをいただきますが、先輩・後輩の枠を超えて大い

に盛り上がりました。昨年、子供も関東学院六浦高等学校を卒業し、子育てに一段落ついたので、又このような機会がありました。是非、参加したいと思います。

(津村美実 30回)

美味しいものが沢山!

今回は牛肉、豚肉、野菜、おにぎり等がセットされていたが特別に買出しはしませんでした。滝沢一博さん(27回生)より破格にて葉山牛購入ができ、更に松坂牛まで差入れて頂きました。

又、西岡元会長(14回生)にも上等な牛肉を御持参いただき皆さん大満足!!

「バーベキュー大好き!」黒畑校長からはワイン、島根会長が丹精込めて育てた黄色いスィカも大好評。もちろん私も鮎のホッペとカマを差入れました。

他にも食べ切れない程のお料理を各自用意していただいていたのも豪華なバーベキューとなりました。馳走さまでした。

(駒井稚寿子 30回)

三つのテントで気持ちは一つ
今回開催されましたバーベ



30回
(千葉敏雄)

私だけではなかったと思います。企画をされた幹事様、本当にありがとうございました。

キュー大会は、親睦を深めるのにうってつけの企画であり、コミュニケーションが深まりました。1つ難点だったのが、猛暑でさらにテントの中で行ったため、酒焼けしまつたことですね。さて、3つのテントの中でバーベキューコンロに10人弱で囲み、年齢に関係なく焼く人、食べる人、飲み物を注ぐ人と自然と分かれ、焼き方、野菜、魚、肉の食べ方などを伝授されみなさんの個性があふれていました。初めて会う人、仲のいい人、若年層から高齢者?までみなさんあつという間に仲良くなり、楽しく過ごしました。仲良くなれたきっかけは、中高時代の先生方のお話で、年齢が違っても共通することが多く、昔話が懐かしうことを、思ったのは、私だけではないかと思えます。企画をされた幹事様、本当にありがとうございました。

第1回



優勝は千葉敏雄君(30回)でした!

2016年2月
13日(土)17時から、
スポルト横須賀に
て第1回六葉会ポ
ウリング大会が、18
回生・49回生の18
名が参加して開催
されました。この大
会は六葉会の親睦
を深めるために行
われたもので、昨年
夏に実施したバー

初めての企画でもあり、どれくらいの方が参加していただけるかとの担当の卒業生支援委員長は心配をしていました。が、数多くの方に参加していただきホットしたところでした。参加された方の中には「ボウリングは30年ぶりだ」と言う方もいらつしやう、スコアもバラバラにならうと思っていました。が、スタート直後は、みなさん久しぶりのようで恐る恐るといった感じでガータ続出の方も散見されましたが、さすがボウリングブーム全盛期時代で活躍された参加者は体が覚えている

のか後半戦に入ると、ストライク
スペアを連発しスコアを上げてい
ました。

白熱した大会もあつという間に
終わり、19時から2階のサイゼリヤ
で行われた親睦会で表彰式が行わ
れ全員に景品がいただきました。早
事優勝された千葉敏雄さん(30回)
に優勝カップが授与されました。

参加されたみなさんは懇親会の終了までもとても楽しそうで笑顔笑顔の時間を過ごしました。

この親睦会を企画した卒業生支援委員長の高藤眞道さん(35回)から「今後とも六葉会の親睦を深め母校の為に活動してまいりますのでご協力をお願いいたします。」とのメッセージを頂きました。

（甲斐 深雪 31回）

うう～ん、門松？ おめでたい(笑)



2015年10月30日・31日

六浦祭

卒業生支援委員長
加藤 眞道(35回生)

生徒たちが作ったメインゲートにも今年度のテーマ「HIRO」と書かれています

今年も「祭り」が盛大に行われました！
全校生徒が丸となって学校を盛り上げる「祭り」、「六浦祭」が今年は10月30日、31日で開催されました。

今回のテーマは「HERO」。一人ひとりが物語の主人公となり、ストーリーを描いていくという意味が込められてのテーマです。

正門を通ると中庭のイベントステージからは、自然に体が動いてしまうアップテンポな曲で出迎えてくれました。このステージ、「Performance Stage」では芸達者な生徒がダンスや歌そしてクイズ大会でみんなを盛り上げ、礼拝堂では演劇や吹奏楽などで感動を与えていました。

私たち六葉会も、教室の一室を「六葉会の部屋」として卒業生の交流の場に活用していただこうと様々な工夫を凝らして六浦祭に臨みました。今年は例年になく最近卒業した若い世代の方々が多く来場して下さり、嬉しくそして今後の活動の励みになりました。

六浦祭はただの「祭り」ではないと思っています。普段の学校生活では学ぶことが出来ない社会勉強の一環の要素が含まれているからです。この「祭り」に携わるそれぞれの生徒が、何をやるのかと「企画」し、その企画を実行に移し「準備」をする。時間の経過とともに

に企画したもの「形」になり、そこで微調整を繰り返しながら「完成」する。心ひとつに0から作り上げたものがやつとの思いで完成した時の達成感とは、「祭り」の時にしか味わえないのではないのでしょうか。このような喜びの体験が将来社会に出たときには必ず役に立つことでしょう。

私たち六葉会は卒業生の親睦を図り、我が母校の発展と後輩たちの健全育成のために積極的な協力活動してまいります。卒業生の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



保護者(六穂会)も一生懸命に生徒たちを応援します！



生徒たちの模擬店もにぎやかです！

第11回

ホーム カミングデー

2015年10月31日

母校支援委員長
荒井 直彦(25回生)



まず伊藤宗教主任の司式で礼拝が行われました



今年も島根会長から生徒会長に在校生支援金が贈呈されました



懇親会で六葉会の蒲谷副会長から開会のご挨拶が

11回目のホームカミングデーの主旨は、久しぶりに母校に足を運んでいただき、母校で会う旧友や恩師の先生方との会話や記憶に残るような貴重な時間を過ごしていただくことであります。

従来の六葉会の活動から新しい時代に向けた取り組みや支援活動も考えていかなければならないと思っております。

今後とも同窓会が母校の発展向上のために協力し役割を果たしていくべきであると思います。

11回目のホームカミングデーが、六浦祭開催中の2015年10月31日土曜日午前11時から開催されました。対象者は53回生から63回生までの卒業生で、例年通り、会の開催につきましては、事前に招待状を送付させていただきました。既に昨年度から、ホームカミングデーの開催内容について、協議・検討を重ねてまいりましたが、結論としては従来通りのホームカミングデーは、今回で終了することとなりました。大きな理由としては、対象卒業者が一巡したことによるもので来年度の開催は、内容も方向性も検討中であります。

【2015年5月23日(土)】 15回生 J3-3クラス会



ホテルニューグランド スターライトルームに於いて、『15回生3年3組クラス会』を23名の参加者で開催する事が出来ました。今回、卒業して以来、初めての参加者が1名と、30年ぶりに参加出来た方がいらっしゃいましたので、常連者含め皆さん大いに盛り上がり、二次会の方参加率も9割と、盛況の内に次回「古希の集い」を約束し終電間際の散会でした。盛り上がりの中でも、六葉会に調べて戴いた1年3組の名簿を出席者に知らせた所、自分は1年生～3年生まで3組だったと、ほとんどの方が誤解していたことが判明し、改めてネイティブ3組生の確認が出来、理由は判りませんが、皆さん満足された様子です。

【2015年6月14日(日)】 38回生S3-5クラス会

クチャーナ・ラ・コリコ横浜におきまして関東学院六浦高等学校38回生5組のクラス会を佐々木智子先生はじめ参加者22名で開催しました。四半世紀ぶりの再会でもすぐあの頃へタイムスリップし心躍る時間をすごすことができました。皆様のご協力により盛会になりました。

【2015年8月22日(土)】 43回生 S3-5クラス会



8月22日(土)午後1時より、桜木町ワシントンホテル24F「東天紅」にて高校3年5組のクラス会を行いました。クラス担任の安達みな子先生にも出席していただき16名の参加者と楽しいひと時を過ごしました。

【2015年8月30日(日)】 グリークラブOG会



京急上大岡京急百貨店パンケトルームにてグリークラブのOG会が行われました。参加された方は、社会にでて間もない方から子育てを終えた方と幅広かったです。OGの皆さんが、現在は長野にお住いの久松先生を囲んでアカベラで当時の気持ちになって歌って過ごしました。

2015 年度 同期会 レポート

2015年度に同期会やクラス会、そして、クラブのOB・OG会が各地で行われ、親睦の輪が広がっています。それらの中で六葉会に情報を下さった会のレポートを開催された順にご紹介させていただきます。

【2015年5月2日(土)】 軽音楽部OBOG会



ライブハウス「横浜セブンスアベニュー」にて、軽音楽部20周年記念ライブ、懇親会を行いました。ライブ、懇親会共、顧問の山下直樹先生と秋吉和史先生にご来場、ご参加いただきました。ライブには、OBOGのバンドだけでなく、現役高校生の軽音楽部員も出演し、大いに盛り上がりしました。そのあと行われた懇親会には、OB最上級世代の46回生から、61回生まで世代を越えて25名のOBOGが集まり、懐かしい映像を見ながら、懐かしい話をして、軽音楽部の20周年をみんなでお祝いすることができました。

【2016年1月11日(月)】 62回生



成人式の19時～21時まで中華街にある重慶飯店新館ロースホテルで行いました。
 芹田先生、杉村先生、横山先生、八巻先生、深野先生、大村先生、杉村先生、佐々木先生や櫻井先生など多くの先生たちが来てくださいました。また、久しぶりに148名の仲間と楽しく過ごすことができ、同窓生っていいものだなと改めて感じました。

【2016年1月16日(土)～17日(日)】 25回生 みどりパッチの会



マホロバ・マイنز三浦で今回は一泊でやってみました。26名の参加があり11名が宿泊して旧交を温めました。
 なんと和歌山県の白浜からも駆けつけてくれた方もいました。

**同期会やOB会などの開催には
 六葉会から補助金を差し上げます！**

六葉会は同期会の開催をお手伝いさせていただく意味で、同期会やクラス会を開催する幹事さんに、1クラスにつき3,000円の通信費補助金を差し上げております。住所情報の提供もしております。

同期会終了後に以下のものを六葉会に提供していただけたら幸いです。

- (1)更新した住所録
- (2)同期会のレポート

皆さんの同期会が盛会となりますことを心よりお祈りしております。

【2015年10月3日(土)】 21回生 S3-2クラス会



10月3日(土)第21回卒業三年二組クラス会が鎌倉の中華店二楽荘にて開催されました。
 大西先生を招き22名が出席。卒業以来毎年続けられて今回は43回となりました。毎年10月第一土曜日と開催日が決まっているため参加し易いのだと思います。

【2015年10月20日(火)】 4回生



横浜駅西口に在るホテル横浜キャメロットジャパン内「桂川」で、久しぶりに4回生の同期会が行われました。日本料理をいただき、お喋りを楽しみました。伊藤清先生にお出でいただきました。又、昭和40年代の初めにブラジルに移住し、成功され元気なお姿を見せてくれた方も参加されました。25名(男性18名、女性7名)の出席でした。

【2015年11月4日(水)】 5回生(互暉会)

横浜バイセラムホテル&タワーズ8F「木の花」にて互暉会を開催しました。25名の出席者でしたが楽しい語らのひと時を過ごし又来年も元気で会えることを約束して閉会致しました。

【2015年11月15日(日)】 32回生



横浜駅東口スカイビル内のクルーズクルーズで32回生同期会を行いました。参加者は103名(先生5名 同窓生98名)でした。
 50才の記念として25年ぶりの同期会は、実行委員を募りグループブライン(初心者が多くラインにハマりました)を立ち上げ準備6か月をかけて不明者探し、途中転校の方の搜索などをやりました。また、当時の写真を個々より集めて掲示物を作り、当日の流れなどの打ち合わせをする為に何度も集まりました。亡くなった横地康子(旧姓 吉田)さんの歌声をメインとした曲を組み合わせてフラッシュモブを取り入れたりして、参加者全員が観て聴いて踊って楽しめたひとときとなりました。

2015年11月12日開催

第9回

同窓会親睦ゴルフが開催されました!

関東学院六浦中学校・高等学校 同窓会ゴルフ大会



「先輩・後輩たちとの
交流が楽しみに」

斉田 美穂 (37回生)

2015年11月12日にキングフィールズゴルフクラブでの卒業生親睦ゴルフ大会に2回目の参加をさせていただきました。私たち37回生はゴルフ好きが集まってクラブワンオーバーというコンペを続けています。その仲間から卒業生のゴルフ大会があると誘われどんな人たちが来るんだろう...どんな集まりなのかなあ...と初めての時は少し緊張した気持ちで参加しました。幹事の先輩たち初めて会った先輩方も温かく迎えてくださって、あつと言う間に和気藹々の楽しい時間に。ハンデをたくさんもらって女子の優勝を経験することができた記念の日になりました。また、今年は司会のお手伝いをさせて頂き、たくさんさんの出会いもありました。私たちの学年より若い年代の参加者はまだまだ少なく、先輩たちが続けてきたこのコンペを後輩へと繋げていきたいと心から想うのです。

..... 次回開催のご案内

第11回 関東学院三春台校・六浦校 卒業生親睦ゴルフ大会

日 程：2016年6月13日(日)
参加資格：両校卒業生・在籍歴のある方・教職員(現役・退職問わず)
会 場：キングフィールズゴルフクラブ
会 費：20,000円(プレー代・パーティ費込)

第10回 関東学院六浦中学校・高等学校 卒業生親睦ゴルフ大会

日 程：2016年11月10日(木)
参加資格：関東学院六浦中学校・高等学校卒業生・在籍歴のある方・教職員(現役・退職問わず)
会 場：キングフィールズゴルフクラブ
会 費：20,000円(プレー代・パーティ費込)

関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会は10回記念となります。
奮ってご参加ください。どちらもお一人でもご参加いただけます。

▼連絡先:武田正雄(7回生) ■ 045-321-5345 または 090-3515-1395 FAX.045-324-0242
斉田美穂(37回生) 080-1353-2030

六浦祭

2016年10月28日(金)～10月29日(土)

今年も六浦祭が開催されます。新しくなった校舎や催し物・模擬店を見にいらっしやいませんか。私たち卒業生も現役生徒たちの応援団です。
六浦祭期間中、六葉会では「六葉会の部屋」でお茶とお菓子を用意してお待ちしております。卒業アルバムなどをご覧いただきながら懐かしいお話で盛り上がっています。

■日程等は変更される場合があります。ホームページでご確認ください。

■学校には駐車場の用意がございません。 ■お越しの際は公共交通機関等をご利用ください。

会報のバックナンバーがご覧いただけます

毎年六葉会会員の皆さんにお届けしている「六葉会会報」は六葉会のホームページ(<http://www.rokuyoukai.com/>)で過去に発行された19年分をご覧いただけます。「六葉会」で検索できます。六葉会では会報をデジタル化してお知らせすることを検討しています。

住所変更は携帯・スマートフォンからでもできます。



六葉会ホームページには会報バックナンバーの他に次のような記事も載っています。

- 1 恩師の動画**
六葉会ホームページのトップ右側に表示されています。懐かしい先生方にお話をいただきました。
- 2 同期会のお知らせ**
クラス会や学年会を開催する際には六葉会にご一報ください。「同期会・クラス会」をご覧ください。
- 3 六葉会の日程**
常任幹事会の日程も表示しております。議事録も掲載しておりますので会議の様子がわかります。ご協力いただける方は是非お出かけください。
- 4 母校の様子**
母校の公式 Web サイトと公式ブログをご覧いただけます。トップの「母校のようす」からご覧ください。

※会報の印刷は当分の間継続していきますが、六葉会で進めている会報のデジタル化にご理解をいただき、六葉会ホームページをご覧くださいませようお願いします。

◎第64回生学年幹事の紹介

1組	浅野 絵美
2組	板井 光太
3組	遠藤 孝
4組	新明 沙姫穂
	中島 翼
	鈴木 爽太郎
	星 征範
	富所里 麻奈

クラス会や学年会の開催の際には六葉会にご連絡ください。
(六葉会ホームページからご連絡ください。)

※最新の住所録をご用意します。
※通信費の補助金を差し上げます。

■関東学院六葉会 〒236-8504 横浜市金沢区六浦東 1-50-1 TEL.045-781-2525

印刷：株式会社エイコープリント 2016.4

Kanto Gakuin Mitsuura Junior & Senior High School



アラスカ研修 (2015 年度より実施)



セブ島 英語研修 (2014 年度より実施)



アメリカ短期研修



カンボジア サービス・ラーニング研修
(2014 年度より実施)



マレーシア ターム留学



オーストラリア ターム留学

文化、科学、語学…
本物に触れ、世界と繋がる 6 年間に
Go! Global

1 学期に行う学校説明会 (事前申込等は不要です)
5 月 14 日(土), 6 月 4 日(土), 6 月 22 日(水), 7 月 23 日(土)
※いずれも 10:00~11:30 に本校で実施します

関東学院六浦中学校・高等学校

236-8504 横浜市金沢区六浦東 1-50-1

Tel: 045-781-2525



本校ホームページはこちら